

経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県 富岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	80.82	99.69	3,069	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
45,172	122.85	367.70
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
44,307	107.01	414.05

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】令和6年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 「経常収支比率」は、前年度比微減ですが、100%を上回っており、収支は概ね健全な水準であるといえます。
- 「流動比率」についても、前年度比減少ですが、100%を大幅に上回り、短期的な債務に対する支払能力は良好であるといえます。
- 「企業債残高対給水収益比率」は、全国平均値、類似団体平均値より低い比率であります。また、企業債の返済により残高が減少しているため、減少傾向にあります。
- 「料金回収率」は、前年に国の臨時交付金を活用し、水道料金の基本料金を9ヶ月間免除した影響により、前年度より23.11%増加しています。
- 「給水原価率」は、全国平均値、類似団体平均値を大幅に下回り、低い水準にあるといえます。
- 「施設利用率」は、給水量減少等に伴い全国平均値、類似団体平均値を下回っています。
- 「有収率」は、大規模な漏水発生の影響により、昨年より減少しています。引き続き管路更新率向上とあわせ有収率向上を目指します。

○経常収支比率が100%を上回っており、収益性は概ね良好であるとともに、経営に必要な経費は給水収益で賄えており、健全経営といえます。一方、今後の企業債の発行については、水道事業経営戦略に基づき、検証する必要があると考えます。また、施設利用率を上げるべく適正な施設規模等について、最大稼働率、負荷率等と併せて、検証する必要があると考えます。

2. 老朽化の状況について

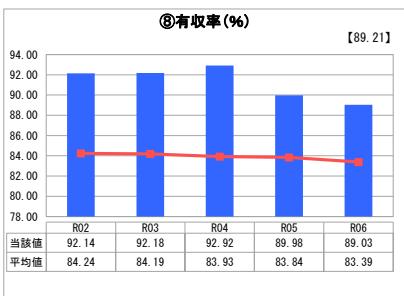
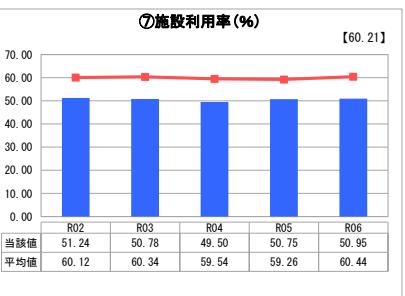
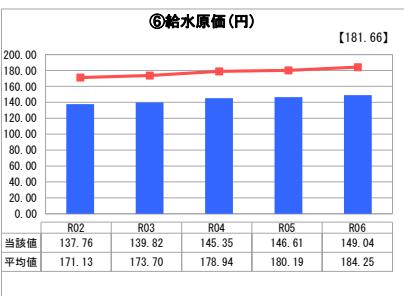
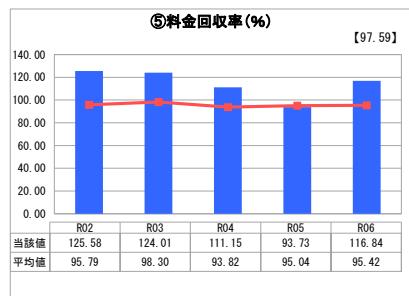
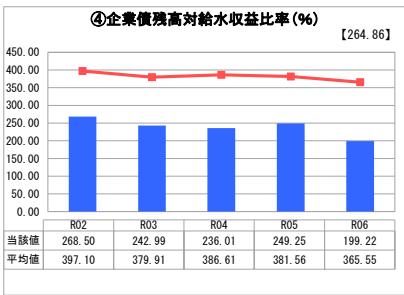
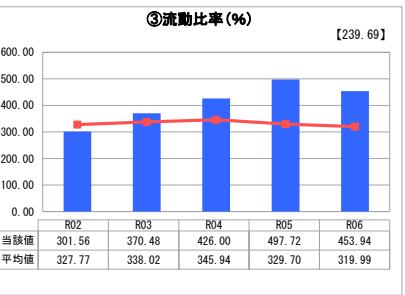
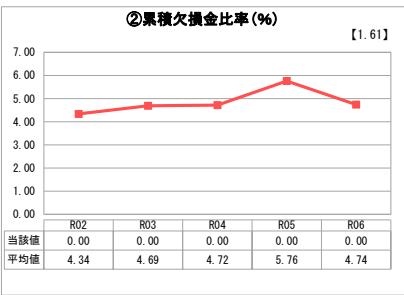
- 「有形固定資産減価償却率」は、全国平均値、類似団体平均値を下回っていますが、増加傾向にあり、資産の老朽化は進んでいると考えます。
- 「管路経年化率」は、全国平均値、類似団体平均値を下回っています。
- 「管路更新率」は、計画的に管路の更新を実施していますが、工事との関連で増減があると考えます。必要性が高い管路や水道事業基本計画（水道事業ビジョン）に基づき、管路更新率向上を図っています。

○昭和40～50年代の事業拡張時に布設した管路の耐用年数により、経年管が増加傾向にあり、計画的な更新が必要な時期を迎えています。水道事業基本計画（水道事業ビジョン）に基づき、効率的な管路更新が重要であると考えます。

全体総括

経営の健全性は概ね良好であり、収益性などは確保されていますが、施設の効率性の向上に取り組む必要があると考えます。今後、収入の多くを占める水道料金収入は、人口減少社会の到来や節水意識、機器の節水性能向上などの影響で減収することが予想されます。よって、中長期的な水道事業経営戦略に基づき財源の確保や、適正な規模での効果的な管路、施設整備や耐震化、漏水防止につながる更新事業を行うとともに、効率的な事業運営につとめ、健全経営を維持していきたい。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

